

仕様書

項目	仕様等	必要理由等
1	毎分78,000回転以上であること。	スムーズな手術を行う為に必要。
2	標準駆動源は電気であること。	コンセントのある場所ですぐに使用できる為。
3	コンソールに回転メーターがついていること。	正確な回転数を測定する為に必要。
4	停止時に余計な回転をする事なく、瞬時に停止する事。	危険回避の為に絶対に必要。
5	アタッチメントがベアリング構造で作動時のカッターバーのブレが無いこと。	オペ時に微小な部位でカッターバーの先がブレては非常に危険なのでブレないことが必要。
6	組立は専用工具なしで装着できること。	オペ時間の短縮の為にスピーディーな組立が必要。
7	作動時のハンドピース部分に熱が発生しないこと。	ハンドピースに熱が発生することにより、冷却のため一次中断しなければならないため、熱が極力発生しないシステムが必要。
8	ハンドピースが小型で軽く120g以下であり、操作性に優れていること。	特に深部切削時においては、手の馴染み、片手操作ができる小型・軽量が必要。
9	オートクレーブ滅菌が可能であること。	緊急手術機器の為早急な滅菌に対応していることが必要。
10	機械自動洗浄、滅菌用のケースがあること。	洗浄、滅菌時の器械保護のため必要。
11	イリゲーションポンプが標準装備されていること。	骨壊死等防止のため、イリゲーションによる持続冷却が必要。
12	逆回転が可能であること。	危険な部位とは逆の方にキックさせたい場合に逆回転が必要。
13	操作性上ホースはフレキシブルであること。	ドリリングの妨げとならないよう、柔軟性のあるホースが必要。